

6月27日やしらの森公園の「守れ！ため池！里山再生プロジェクト！」に生活科学科児童研究部がスタッフとしてお手伝いに行く



ということで様子を見に行きました。緊急事態宣言明けということでどれくらい集まるかわからないということでしたが、天気も予想に反し良かったことで、10人を超える子供たちと保護者が集まり、大盛況でした。ため池に仕掛けた網にかかった魚や、ザリガニ、エビなどを見たり、触ったりしながらため池に生活する生物を知って学びを深めるイベント

です。参加した子供たちのザリガニ釣りの手伝いや網にかかった魚を小さな水槽に移して見やすくする手伝いをしていました。合間にはスタッフから蝶の生態を教えてもらうなどとても勉強になったようです。私自身も子供のころ川や田んぼの溝でザリガニやヤゴ等取ったことを思い出し、とても懐かしい気分になりました。今回スタッフとして参加

した2年の歡南さん、萩原さんお疲れ様でした。

6月24日から行われていた県総体水泳競技は、水泳部が参加し、頑張ってきてくれました。女子は1、2年生が多いので今後に期待です。3年生はここで競技終了となるようです。お疲れ様でした。

また時を同じくして陸上競技は東京オリンピックの最終選考となる日本選手権が行われていました。注目の男子100mでは多田修平選手が9秒台4人を退け優勝し、代表内定。勝負はやってみないとわからないのとい発勝負だけにここに照準を合わせる力が必要だということを改めて思い知らされました。多田選手もここ2年間ほど得意のスタートダッシュが影を潜めていたのですが、今年に入り持ち味を生かすことに徹したところから復活し見事に代表に選出。あのスタートダッシュは本番でも脅威となるだけに楽しみです。また兵庫県関係者というとすでに代表に内定している田中希実選手が800m、1500m、5000mに出場。特に800m決勝が終わって30分後に5000m決勝を戦うなどとても考えられないことに挑戦していました。両種目で3位に入るなどやればできることを証明してくれたわけですが、一流選手と言われる人たちも、もがきながらチャレンジしていることを知らされ、思いを持って取り組むことの大切さを改めて理解させてくれたように思います。また、110mHでは世界に通用する記録を泉谷選手が出しました。1台目まで8歩が通常ですが7歩で加速をする力をつけ大記録を達成。女子100mHでは11年ぶりの優勝を飾るママさん選手も出てきました。その選手はケガからの不調で一度引退し、結婚出産を経てラグビー競技での復帰を果たし、そこからもう一度陸上にチャレンジして世界ランキングによる東京オリンピック出場が濃厚と言われている寺田明日香選手です。アスリートたちがいろいろな壁を乗り越え、日々精進している姿に感動を覚えます。本番での選手の活躍に期待しましょう。

29日は校長研修でした。いつもこういったところでは大きく改革された校長が来られてその話を聞くのですが、今回も兵庫県出身の武蔵野大学中学校・高等学校の日野田直彦校長が来られ、大阪府立箕面高等学校を4年で改革された経緯、そして現在改革中にある現任校の話をされました。「Challenge」をテーマに掲げ、生徒や若手の教員に働きかけていったという内容でした。大切な言葉として「ありがとう、お蔭さまです」をあげ、最後には母親の「大丈夫、お前は素晴らしいんだから・・・」という内容のストーリーを流され、母親の子供を信じる言葉が自分を支えてくれた、誰かから信頼されているという安心感が大事だということで話を締めくくられました。とてもわかりやすく心に訴える内容でした。私自身も大事にすべきことを今一度見直し、生徒の皆さんとの面談や先生方の意見に耳を傾けつつ、学校の進むべき方向をしっかりとしていかなければならないと改めて思いました。普段こういった方々の話を聞く機会はないので、とても良い刺激になりました。

さて、今週末からは期末考査が始まります。生徒の皆さんは考査の準備とともに自らの今後の方向性をしっかりと考えるチャンスでもあると思います。感染防止対策をとりながら頑張りましょう。